

## プラントの安全性への影響評価の概要について

号 機	2号機
計器名	計器名 : 残留熱除去系系統流量計 計器種類: 指示計
用 途	残留熱除去系に流れる水の流量を監視している  【保安規定に定める運転上の制限値】 な し  【定例試験における判定値】 1,630 m <sup>3</sup> / h 以上の流量が必要
安全性への 影響評価	点検データの詳細と定例試験データからの評価  点検の結果、本計器の校正点のうち、校正点(0%, 25%, 50%, 75%)では許容精度内であったが、校正点100%のみ許容精度外であった。 詳細に点検したところ、校正点(80%, 85%, 90%, 95%)では許容精度内であった。このことから、当該計器は、0~95%の間は精度内であったと言える。 一方、定例試験では当該計器の指示値を測定値として記録しており、定例試験時の系統流量の測定値は1,650 ~ 1,700 m <sup>3</sup> / h 程度と記録されている。当該計器の計測範囲は0~2,000 m <sup>3</sup> / h であることから、定例試験時の使用点は82.5~85.0%程度であり、この使用領域では、当該計器の指示は許容精度内であったと判断できる。

## プラントの安全性への影響評価の概要について

号 機	2号機			
計器名	計器名 : 原子炉水導電率計 計器種類 : 変換器			
用 途	原子炉水の電気の流れ易さを監視しているもの  【保安規定に定める運転上の制限値】 な し  【定例試験における判定値】 な し			
安全性への 影響評価	計器単体の校正前データを用いた当該計器を含む系統単位における誤差計算の結果			
	測定範囲 ( $\mu\text{S/cm}$ )	系統単位における 許容精度	系統単位における 計算結果	結果
	0~0.1 $\mu\text{S/cm}$ (0~10%)	$\pm 2.13\%$	$\pm 0.76\%$	許容精度内
	0.1~1.0 $\mu\text{S/cm}$ (10~100%)	$\pm 0.76\%$	$\pm 0.67\%$	許容精度内
	系統単位における誤差計算結果は許容精度内に収まっており、安全性への影響はない。			

## プラントの安全性への影響評価の概要について

号 機	3号機												
計器名	計器名 : 燃料取替エリア排気放射線モニタ A , C 計器種類 : 記録計												
用 途	燃料取替エリアの放射線量を監視している  【保安規定に定める運転上の制限値】 な し  【定例試験における判定値】 な し												
安全性への 影響評価	<p>計器単体の校正前データを用いた当該計器を含む系統単位における誤差計算の結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統単位における 許容精度</th> <th colspan="2">系統単位における 計算結果</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">±2.73 %</td> <td>A</td> <td>±0.95 %</td> <td rowspan="2">許容精度内</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>±0.81 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>系統単位における誤差計算結果は許容精度内に収まっており、安全性への影響はない。</p>			系統単位における 許容精度	系統単位における 計算結果		結果	±2.73 %	A	±0.95 %	許容精度内	C	±0.81 %
系統単位における 許容精度	系統単位における 計算結果		結果										
±2.73 %	A	±0.95 %	許容精度内										
	C	±0.81 %											

## プラントの安全性への影響評価の概要について

号 機	3号機						
計器名	計器名 : 非常用ガス処理系乾燥装置 ( B ) 湿分除去装置差圧計 計器種類 : 指示計						
用 途	非常用ガス処理系湿分除去装置の差圧を監視している  【保安規定に定める運転上の制限値】 な し  【定例試験における判定値】 な し						
安全性への 影響評価	<p>至近の定例試験 ( 平成 24 年 2 月 10 日実施 ) の測定値 0.12kPa に対して、当該計器の校正前データから得られた最大誤差 - 4 % ( 許容精度 <math>\pm 3 %</math> ) を加味した場合でも、定例試験における参考値 0.25kPa 以下を満足する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定例試験における 参考値</th> <th>定例試験測定値に 最大誤差を加味した値</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25kPa 以下</td> <td>0.14kPa</td> <td>参考値を満足する</td> </tr> </tbody> </table> <p>過去の実績値や設計使用書等により求められた目安値</p> <p>上記の通り、定例試験における参考値を満足するものであり、安全性への影響はない。</p>	定例試験における 参考値	定例試験測定値に 最大誤差を加味した値	結果	0.25kPa 以下	0.14kPa	参考値を満足する
定例試験における 参考値	定例試験測定値に 最大誤差を加味した値	結果					
0.25kPa 以下	0.14kPa	参考値を満足する					